

会議録

会議名：令和5年度 第3回運営推進会議(せとうち)

■ 日 時	: 令和5年9月26日(火) 10:30~11:30
■ 出席者	: 別紙参照
書 記	: 田中 寿一 印
■ 議 題	: 令和5年度 現況報告 他
■ 内 容	
1. 令和5年度 現況報告(7月~8月) (資料1)	
Q. 胃ろうの人も受け入れてくれるか?	
A. 受け入れは可能です。医療行為になるが介護職も研修を終えたら行えるようになっているので大丈夫です。	
Q. 看取りに前提での受け入れは可能なのか?	
A. 制度としては可能であるが、小規模はご本人やご家族との関係づくりを大切にしているので緊急でなければ看取りになる前にご利用を検討して頂きたいです。	
・8月の終わりから9月にかけて小規模で見取りをおこなった方の経過報告として	
本人は要介護1だったが8月中旬より食事や水分を摂らないようになり、ご家族へ報告し病院受診をしてもらう。	
そこで、入院となり点滴生活を送るが医療的ケアがなくなった為、退院となる為小規模での受け入れをおこなう。	
8月の終わりに退院して9月1日に永眠された。見取りをおこなった期間は3日程ですが、娘様は毎日 朝夕小規模へ来ていた。	
2. 地域貢献 座談会 (資料2)	
1. 家族の所へ帰る事ができる、帰る場所がある事が本人にとって良いことだと言われるけど、	
本人はいつも「いつになったら家に帰れる?」「誰も家の者が迎えにこない」と家でも言っている。	
家族の気持ちとしては複雑な気持ちですが、本人が現在を生きる人なので、その時を納得してくれると良いのかと思うようにしています。	
要望はその時々で聞いてもらっているので、大変ありがたく思っています。本人が小規模へ「行かない」と言う事が無いので居心地が良い所だと本人も思っていると認識しています。	
『感想・ご意見』	
・小規模をご利用中に帰宅の訴えはあるか?	
A. もちろん小規模をご利用中も帰宅の訴えはあります。「今日は何時に帰る?」「歩いて帰ろうか?」など訴えがあるが、ご家族(娘様)と職員では気持ちの持ち方が違います。	
・認知症の方への対応の基本は否定しない事だと思うので、そこをご家族にもお伝えし、否定しても仕方ないという気持ちでお互いにストレスを貯めないようにしてみても良いのではないのでしょうか。	

2. ごみ用のポリバケツを上手に使えばよいのですが、そうも上手くやれなく、レジ袋に生ごみやプラごみ等を捨てています。一回ごとに袋を再利用できないように切って捨てていますが、ごみ袋の中を引っかきましてゴミを落としていき、落としたゴミはそのままにしています。本人に何度注意しても止まりません。認知症があるといえ家族としてはイライラしてしまいます。いつも予定を組んでおられるのに急な変更に対応して頂いているので頼らせて頂いています。職員の皆様へ「感謝」

(裏面へ続く)

『感想・ご意見』

・実の兄嫁が認知症になり兄が世話をしていたが、予期せぬことしたりと困ることばかりをしていると良く言っていた。兄嫁の世話だけでなく姑の世話も一緒にしていた時があり、ある日、姑の排泄介助をしていたら兄嫁が後ろから押してくるような事があり、温厚な兄が大声をあげて注意したと教えてくれた。その時に兄が言った言葉が「怒る事が良くないことは理解しているが、常に傍で介護している人間は我慢できない」であった。良い事例を同じような境遇の人たちに研修のような形で伝えてみてはどうか？ 自分も高齢になった為、妻に何かあったらと恐怖を感じる事があり、事例を通し対応を知ることによって安心できるのではないかと。

3. 生き生きカフェ☆せとうち食堂について (資料3)

・いつもお弁当を注文してもらい会場へ足を運びますが、子供たちの元気な声が聞こえ楽しいそうにしている姿を拝見してもらい元気をもらっています。

4. その他(質疑応答)

次回 令和5年11月28日(火) 10:30～ 開催予定

施設長	副施設長	小規模	ケアマネ		相談員		栄養士	作業療法士	理学療法士
居宅			事務員			介護課長	介護主任	リーダー	報告者